

インド、ミャンマー、ネパール、スリランカ

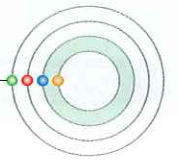
月日	時間	研修内容
10/22(水)		成田国際空港より入国 泊 シェラトン都ホテル東京
10/23(木)	9:30~10:30	オリエンテーション
	10:40~11:40	講義(日本の難民受入れ)
	12:00~13:00	団員自己紹介、昼食会
	13:20~15:20	講義(日本の社会福祉施策の概要)
	15:30~16:40	日本文化体験 ①
	18:30~20:30	歓迎レセプション 泊 シェラトン都ホテル東京
10/24(金)	9:00~10:30	皇居 見学
	11:00~12:30	国会 見学 ②
	12:50~13:30	丸の内仲通り 散策
	14:30~16:30	東京スカイツリー 見学
	16:30~18:30	秋葉原 散策 泊 シェラトン都ホテル東京
10/25(土)	10:10~11:20	社会福祉法人奉優会 港区立特別養護老人ホーム 白金の森 見学
	13:40~14:40	社会福祉法人東京育成園 見学 ③
	14:40~	都内散策 泊 シェラトン都ホテル東京
10/26(日)	9:17~11:27	新幹線で京都へ移動
	14:10~15:50	平城宮跡 見学 泊 新都ホテル(京都)
10/27(月)	9:20~10:10	社会福祉法人ならやま会 もえぎ 見学 ④
	10:30~12:00	奈良県庁 表敬訪問 奈良県庁 講義(奈良県の 社会福祉政策)
	13:30~14:30	社会福祉法人奈良社会福祉院 佐保山荘・佐保川保育園 見学 ⑤
	15:00~15:50	東大寺 見学 ⑥ 泊 新都ホテル(京都)
10/28(火)	10:00~11:00	京都御所 見学 ⑦
	11:30~12:10	国立京都国際会館 見学 ⑧
	14:00~15:30	社会福祉法人太陽の家 京都事業本部 オムロン京都太陽株式会社 見学
	15:30~	京都市内 散策
	18:00~20:00	フェアウェルパーティ 泊 新都ホテル(京都)
10/29(水)		関西新国際空港・大阪国際空港より帰国



③(東京育成園) 児童養護施設・東京育成園は家庭舎制(小舎制)となっており、一軒毎に子ども部屋、リビングルーム、台所、浴室、トイレ等が完備し、4人(専任3人、兼任1人)の児童指導員・保育士を中心として、生活のすべてが各家庭舎を中心に行われている。各家庭舎は7人の子どもが幼児から高校生まで、男女組み合わせで、人数の多い兄弟姉妹のように助け合いながら毎日を過ごしている



⑥(東大寺) 聖武天皇が造顕されたお寺で、光明皇后は貧しい人に施しをするための施設「悲田院」、医療施設「施薬院」を設置して一般の人々のために尽くされた。わが国の社会福祉事業の発祥の地である東大寺の国宝大仏殿にて一般に許可されていない大仏の蓮台まで案内してもらい、僧侶から懇切な説明をうける



① (財団事務所) 生け花の作法や道具の紹介後、講師の手本を参考にしながら個々に活けると、「実際に体験することで日本の文化への理解が深まり、さらに興味関心が高まった」との感想が寄せられた



② (国会) 国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関を見学。衆議院の本会議場を見学するほか、国会議事堂前にて綿貫理事長(元衆議院議長)と記念写真を撮影



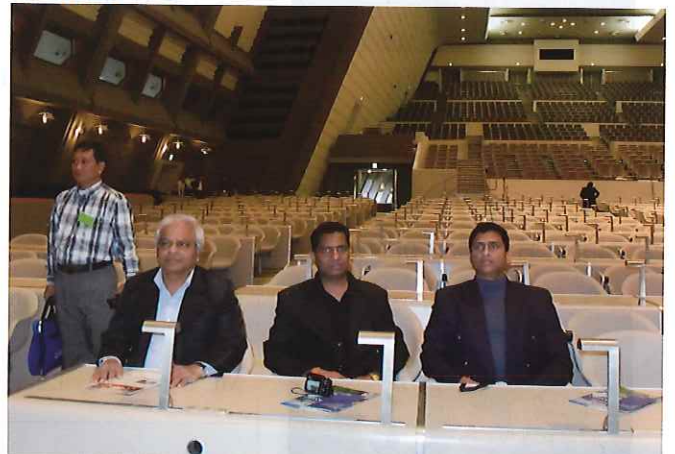
④ (もえぎ) 社会福祉法人ならやま会では、知的障害者、身体障害者の入所支援施設や生活介護施設などを運営。もえぎにてアクセサリ作り、ポストिंग業務、給食の配膳、食材の皮むき等作業、プラスチック小物の委託、入所者の洗濯業務を行う。併設の雑貨店にて



⑤ (社会福祉法人奈良社会福祉院) 第二次世界大戦後の荒廃と混乱した状況のなか社会的弱者であった母子家庭の母と子の自立を目指して創業者が自宅の片隅に小さな作業場を運営。その後、母子寮、保育所、老人ホームを設け総合的社会福祉事業を実施。自立支援が必要な母子を母子寮・佐保山荘に受け入れ、働く広場・佐保にてクリーニング等の仕事をしながら、子どもを佐保山保育園等に通わせるシステムを構築、母親が安心して働ける環境を整えている



⑦ (京都御所) 794年に桓武天皇が平安京へ遷都した際、都の中心となる大内裏の中に造った天皇の住まい(内裏、皇居)。遷都後は幾度も火災に遭い、1331年里内裏^{*}のひとつで公家・藤原頼綱の邸宅であった土御門東洞院殿が北朝の光厳天皇によって正式な内裏として定められ、1869年まで歴代天皇の日常の住居として即位の礼など重要な儀式が行われた。^{*}内裏の罹災の際、一時的に利用した仮の皇居



⑧ (国立京都国際会館) 日本で最初の国立国際会議場。1997年地球温暖化防止京都会議「京都議定書」の採択、2007年第40回アジア開発銀行年次総会、2010年第17回APEC財務大臣会合など16,000件以上に及ぶ会議・イベントを開催し、日本の国際会議の歴史とコンベンションの基盤をつくった